

ドーハ日本人学校での教育実践

平成 24 年 6 月 16 日 (土)

職名：教諭	国内所属機関： 埼玉県	派遣年度：平成 21 年度	川口市立本町小学校 教諭 宅野紘一												
調査・研究 のテーマ	確かな学力と豊かな心を身につけた、たくましい日本人の育成を目指して														
テーマの キーワード	教育課程・現地理解教育														
調査・研究 のねらい ・目的	<p>海外という厳しい環境で生活する児童・生徒に変化の激しいこれからの社会を生きる力をはぐくむことをねらいとし、以下の 4 つの視点で研究を進めた。</p> <p>① 少人数・複式学級における授業方法の工夫・改善 ・自ら進んで学習できる児童を育成するため。</p> <p>② 異年齢集団との関わりを通じた生活体験の充実 ・豊かな心を身につけた児童を育成するため。</p> <p>③ 現地理解教育の計画・実践 ・カタールについての理解を深めると同時に日本の理解も深めるため。</p> <p>④ 日本との国際交流学習の計画・実践 ・日本とカタールのつながりや各国のよさを実感するため。</p>														
調査・研究 の結果 (概要)	<p>3 年間を通して授業研究と現地調査を進めることで、再開校した学校を軌道に乗せることができた。主に再開校 1 年目は複式授業の研究、2 年目は現地調査、3 年目は「わたしたちのカタール」の活用についての研究に取り組んだ。結果は以下の通りである。</p> <p>I 授業研究 複式学級において効果的な学習方法を探るべく、年間 1 回の研究授業を実践し協議を重ねた。その結果、複式授業の指導方法を改善することができた。また、チームティーチングによる指導体制も工夫することができた。さらに、週 1 回の全校水泳学習においては、全職員でコース別の指導を行い泳力の向上が図られた。</p> <p>II 現地調査 現地の文化・自然・産業・人々の暮らしに関わる場所等を調査しそれらの情報をまとめた資料「わたしたちのカタール」を作成することができた。この資料は教職員の現地理解を深めるとともに、児童・生徒・保護者・在留邦人の方にも効果的に活用できるものとなった。また、年間 3 回の現地理解校外学習や現地校との交流を行うことで、体験的な学びの場となった。</p> <p>III 「わたしたちのカタール」の活用方法の研究 研究授業日：7 月 5 日 対象：小学部 1 年生 〈成果〉現地講師との T・T 授業で児童の理解を深めることができた。 〈課題〉系統的な指導計画案、内容の厳選が必要である。また、滞在年数の異なる児童の実態に応じた指導方法の工夫も必要である。</p> <div data-bbox="1005 1724 1404 1993"> <p>授業後の児童の意識調査</p> <table border="1"> <caption>授業後の児童の意識調査</caption> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>回答した児童数 (Yes)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■1 カタールのことを詳しく興味を持ったか</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>■2 カタールのことを知りたいと思うことができたか</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>■3 カタールのことを知りたいと思ったか</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>■4 わたしたちのカタールをつかった授業は楽しかったか</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>■5 日本のカタールとの違いを もっと知れたかったか</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> </div>			質問	回答した児童数 (Yes)	■1 カタールのことを詳しく興味を持ったか	20	■2 カタールのことを知りたいと思うことができたか	15	■3 カタールのことを知りたいと思ったか	10	■4 わたしたちのカタールをつかった授業は楽しかったか	10	■5 日本のカタールとの違いを もっと知れたかったか	10
質問	回答した児童数 (Yes)														
■1 カタールのことを詳しく興味を持ったか	20														
■2 カタールのことを知りたいと思うことができたか	15														
■3 カタールのことを知りたいと思ったか	10														
■4 わたしたちのカタールをつかった授業は楽しかったか	10														
■5 日本のカタールとの違いを もっと知れたかったか	10														

I 授業研究

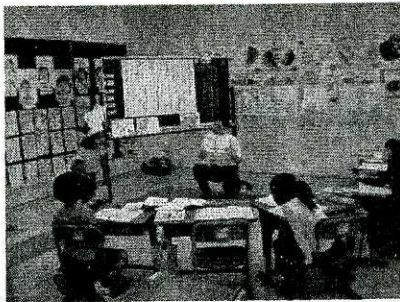
研究主題：国語科における複式授業での個に応じた指導方法の工夫・改善について

研究実践のまとめ

《研究授業の様子》



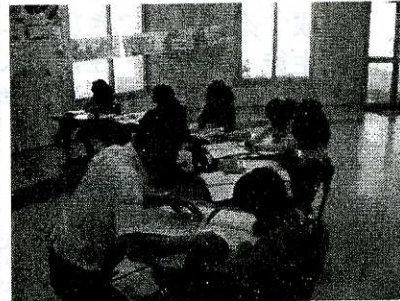
↑複式授業における座席の工夫



↑小学部1年生での指導場面



↑小学部2年生での指導場面



↑個別指導の場面

小学部1・2年生の複式授業形態

主題について

本校の複式指導とは、2学年の各単元を同時に指導するものである。そのため、教師は2つの内容を並行して進めなければならない。

本研究では、この複式の指導方法の在り方と個に応じた支援の方法を

- ①手立て→②検証授業→③研究協議→④手立て→…の流れで実践することをねらいとしている。

様々な手立て

- 教材・教具の工夫
 - ・場面絵の作成、本文を拡大視写、
- 自力解決作業の充実
 - ・文章を書く活動、サイドラインを引く活動等
- 学習規律の徹底と学習形態の工夫

成果

課題

- ◎教材作りによる子どもの学習意欲向上
- ◎座席の工夫による集中力の向上
- ◎複式授業の流れ、指導案等の基礎の構築
- △集団的な学びの場の改善
- △1つ1つの声かけの改善→個別支援の充実

第1・2学年 国語科複式学習指導案

《複式授業指導案の型》

第1・2学年 国語科複式学習指導案		(3) 展開(1年)		(3) 展開(2年)	
学年	単元	単元	単元	単元	単元
1年	1 発見 自らもたせにしよう	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」
2年	1 発見 自らもたせにしよう	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」	1 発見 たし算 発見 発見 「1つ」

